

「天一国主人の生活」



基元節を迎えて、私たちは天一国の国民として、神様の直接主管圏の入籍の位置に立っています。これからは、実体を復帰していかなければなりません。実体を復帰する為には、行動しなければ復帰はできません。み言と一つとなってカイン圏に向かい、そこで実体をサタンから復帰していかなければいけません。み言を受けた分だけ霊的に整理され、正しい動機が与えられていきます。私たちが持つべき姿勢と精神は、孝の情であります。それが天一国主人となる中心な心情です。孝の精誠を天の前に具体的な形であらわしていき、親を喜ばせることができる内外の実績を作り出していき主人となっていきましょう。

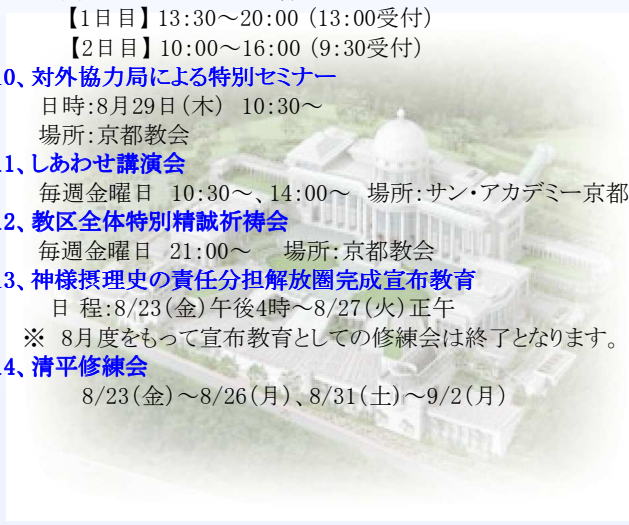
天一国経典の日本語版が、聖和一周年の翌日に発刊されます。新天聖經は、信仰の道しるべであり、信仰生活の本質が書かれています。それに対して平和経は、地聖經と言われる如くお父様が一般の新しい人に対して直接み言を伝えていかれた講演文を中心とした内容です。新天聖經と平和経は、アベル圏とカイン圏を一つにしていみ言です。神様の直接主管圏の時代は、み言と一つになることです。それによって神様の主管の下で歩むようになります。墮落の結果、四大心情圏である“父母の愛”“夫婦の愛”“兄弟の愛”“子女の愛”をサタンに奪われていきました。これらを神様中心に取り戻して、本然の神様を中心とした文化を創造していく時が今であります。

自分の伝道対象者が、自分を作り変えてくれる第2のメシヤであります。私が神様の愛を体恤して再創造されていく為には、墮落性を脱ぎ、神様の真の愛を相続する為に天が与えて下さるのが、伝道対象者です。お母様は“全食口が天一国復興団である”と言われていました。3000名のCIG復興団がアベル圏であり、カイン圏の復興団として全食口が新氏族メシヤそして天一国の民として立っております。さまざまな環境、現実と試練を突破していく為に霊的な力であるみ言を訓読し、祈りを捧げ、具体的に伝道する努力をしていながら、ご父母様の相対圏に立つ歩みを捧げていきましょう。

原理的な生き方とは、感謝と喜びで生活することです。これは神様の創造原理的な生き方です。三大祝福実現を通して神様に喜んでいただくことが私たちの人生の目的であり、神様の創造目的であります。私を通して神様に喜びを返していく、家庭を通して喜びを返していく為に、毎日自分の心が感謝の心であるかを確認していきましょう。天の父母様と天地人真の父母様と共に生きてみ旨を歩むことができることに感謝を捧げながら、昨日より今日天の父母様に近づいてみ旨を進めていけるように、一瞬一瞬を大切に歩いていきましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします。神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します。

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」が行われています。
期間：2013年7月2日(火)～8月20日(火)【50日間】
スローガン：「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道」
- 3、真の父母様聖和一周年記念100日精誠祈禱会が行われています。
期間：天曆4/7～7/17(陽曆5/16～8/23) 21:00～22:30
- 4、伝道三日路程
8月20日(火)～22日(木) 全食口同参
- 5、日本文化講演会
日時：8月21日(水) 10:30～
場所：サン・アカデミー京都
- 6、カップルセミナー
日時：8月24日(土) 10:30～16:00
場所：京都・烟河
- 7、京都を愛する書写の会
日時：8月27日(火) 10:30～
場所：京都教会
- 8、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」(仮称)行事と「清平大役事」
【日程】 Aパターン：8月22日(木)～8月24日
Bパターン：8月22日(木)～8月25日又は26日帰国
※ Bパターンは、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」終了後から「清平大役事」のスケジュールになります。
- 9、京都セミナー(二日修練会)
日程：8月24日(土)・25日(日)、8月31日(土)・9月1日(日)
場所：サン・アカデミー京都
【1日目】13:30～20:00(13:00受付)
【2日目】10:00～16:00(9:30受付)
- 10、対外協力局による特別セミナー
日時：8月29日(木) 10:30～
場所：京都教会
- 11、しあわせ講演会
毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都
- 12、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00～ 場所：京都教会
- 13、神様撰理史の責任分担解放圏完成宣布教育
日程：8/23(金)午後4時～8/27(火)正午
※ 8月度をもって宣布教育としての修練会は終了となります。
- 14、清平修練会
8/23(金)～8/26(月)、8/31(土)～9/2(月)



【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神靈協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : http://www.uckyoto.org/

式次第



執礼者：武藤努教区長
司会者：浅平望

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	侍る忠孝の生活	
※讃 頌 聖歌 7 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

皆さんには責任がありますよ。分かりますね？お父様の切実な祈禱を、もう一度聞いて心の中に去来するものがありましたか？あなたの残りの人生に、後代に、負債を残してはいけません。皆さんがどのような責任を負っている場合でも皆さんの代で全部収めて整理して、み旨を成し遂げたという立場に立つ必要があります。私がそうでした。私は1960年には若い年齢でしたが、私はそうしました。蕩滅復帰摂理歴史は、私が終了させました。

今お父様の聖和一周年まで何日も残っていません。基元節を宣言し、天一国を出発して6ヶ月目になりますが、皆さんはどのような覚悟と決意で天の前に誓いましたか？皆さん自身、お父様のみ言をたくさん受けました。祝福家庭がどのように進むべきか、み言を聞きました。いま残されたことは、皆さんが責任をどのように果たすかです。それによって皆さんの氏族と後の世代が、自由で幸せな世界に住むことができるようになるかどうかが決まるということは間違いありません。これから皆さんの残りの人生における環境は非常に整っています。皆さん自身はさておき、周囲をどのように環境造成するかによって国家復帰、世界復帰を早めることができます。今、み言だけを見て躊躇せずに実践躬行する新しい時代が開かれました。

今日は6時に、集まりなさいと言いました。もう少し時間を科学的、効率的に私たちの体のリズムに合わせて、100%、120%天の前に報いることができる、そのような方面に前進していくことができる活力を与えるだろうと思って1時間遅くしました。よくなりましたか？（はい）感謝ですか？（はい）一部の人は、お父様は5時だとされたのに、お母様を変えたと言うかもしれませんが、皆さんはわかりますね？ 皆さんのためです。みんなで共に行けるようにするためです。それが父母様の真の愛です。

天一国元年天曆7月9日（陽8月15日）
天正宮訓読会 真のお母様のみ言

統一運動

「平和統一祈願 全国自転車縦断」プロジェクト

天一国元年であり、南北停戦協定60周年を迎える2013年、東アジアの平和実現と韓半島の平和統一を祈願し、日本列島を縦断する「平和統一祈願 全国自転車縦断」プロジェクトが、8月3日の早朝5時、日本の最北端・北海道稚内の宗谷岬からスタート。日本からは第1地区長、北海道教区長ほか稚内の食口30余人、韓国からは、南北統一運動国民連合の会長と事務総長が参加した。東北では、記録的豪雨で冠水した道路の中を疾走。12日には東京入りし、代々木聖地から教会本部まで宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長、徳野英治会長、第5地区長が力強くペダルをこいだ。

平和統一聯合創設9周年を迎え、真のお父様の聖和1周年追慕記念行事の一環として企画された同プロジェクトは、北海道の宗谷岬を出発する第1グループと、鹿児島島の佐多岬を出発する第2グループに分かれ、各々区間ごとで趣旨に賛同するランナーが自転車をリレーして全国を縦断。8月20日、下関港で合流したあと、海を渡り韓国に向かう。各区間で今回のプロジェクトに賛同する人たちがサインした旗とアルバムを、聖和1周年の8月23日、記念式典に参加後、真のお母様に贈呈する予定である。8月24日には38度線の臨津閣（イムジンカク）に到着。「2013在日同胞平和統一祈願祭」に参加して、韓半島の平和統一を祈願する。

初日の3日はメンバー7人が自転車で14時間、250キロメートルを走り、旭川教会に到着。翌日は岩見沢、江別、札幌手稲西の各教会で大歓迎を受け、3日目には、札幌にある朝鮮学校を訪ねた。

朝総連委員長、校長先生をはじめ朝鮮学校の学生約50余人、さらに食口50余名が歓迎。全体写真を撮ったあと、統一の歌を歌い、学生たちと共に運動場を一回りして「平和！統一！祖国統一！」を連呼した。最後は学生がランナーを胴上げ、統一を念願する私たちは一つであることを実感した。

津軽海峡を渡り青森に到着した第1グループは、8月8日午前7時、「南北統一祈願と1日の安全、み旨成就」という教会長の祈禱で十和田教会を出発、険しい山間部や5キロメートルにわたる上り坂などの難所を走破して、午後4時30分、6日目のゴールである盛岡教会に到着した。

